

確定日（令和03 年 06 月 03 日）

事業コード	04030114		政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略							
事業名	「あきたの文化」魅力再発見事業		施策コード	03	施策名	文化の発信力強化と文化による地域の元気創出							
			指標コード	01	施策目標(指標)名	秋田ならではの文化資源のPRと、文化を通じた交流人口の拡大							
部局名	観光文化スポー	課室名	文化振興課	班名	調整・文化振興班	(tel)	1530	担当課長名	安田 路子	担当者名	野村 桃子		
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和03年度～令和05年度		
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 文化資源による誘客促進への期待等が高まるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、祭りや伝統行事等による本県文化の関心が低下しないよう、若い世代に秋田の文化に興味や関心を持ってもらう事業の展開が必要である。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 文化資源による誘客促進への期待等が高まる中、県内外の若い世代の観光客を対象とした県内伝統行事の体験型プログラムの作成や活用を通じて、本県の多彩な文化資源の維持・継承を図るとともに、交流人口の創出・拡大につなげる。								
					(重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望								
2. 住民ニーズの状況 ① ニーズを把握した対象 ☐ 受益者 ☒ 一般県民 (時期: R02 年 09 月) ② ニーズの把握の方法 ☐ アンケート調査 ☒ 各種委員会及び審議会 ☐ ヒアリング ☐ インターネット ☐ その他の手法 (具体的に) ③ ニーズの具体的内容 祭りや伝統行事等の開催方法を工夫し、年間を通じた誘客につなげるほか、本県の多彩な文化の魅力をアピールするため、その風土や歴史的背景などストーリー性を含めた情報発信を行ってほしい。					4. 目的達成のための方法 ① 事業の実施主体 秋田県 ② 事業の対象者・団体 県内外の若い世代の観光客、伝統行事保存団体 ③ 達成のための手段 修学旅行生等の県内外の若い世代の観光客を対象に、ワークショップ形式により、伝統行事の由来や言い伝え等の歴史的背景、踊りの所作の意味等を分かりやすく紹介するとともに、実演も取り入れた体験型プログラムを作成するとともに、県内伝統行事を知らない人にも関心を持ってもらうため、ワークショップの様子を撮影・編集した動画を作成することで、体験型プログラムの普及や県内外に向けた情報発信に活用する。								
					④ 比較した代替手段及び選択した手段の有効性 これまで本県の文化をあまり知らない県外の人にとって、実際に伝統行事等に触れ、体験できる事業を実施することは、新型コロナウイルス感染症の影響により祭りや伝統行事が開催できない状況においても、秋田ならではの文化への関心を喚起し、将来の誘客促進につなげるための有効な手段である。								
◎把握してない場合の理由及び今後の方針													
①理由													
②今後の方針													
5. 事業の全体計画及び財源													
順位	事業内記		左の説明			03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画	
01	「あきたの文化」魅力再発見事業		県内の伝統行事の由来や歴史的背景等の紹介、実演を取り入れた体験型プログラムの作成			4,948	4,948	4,948	0	0	0	14,844	
財源内訳		左の説明					4,948	4,948	4,948	0	0	0	14,844
国庫補助金		文化芸術振興費補助金					2,474	2,474	2,474	0	0	0	7,422
県債							0	0	0	0	0	0	0
その他							0	0	0	0	0	0	0
一般財源							2,474	2,474	2,474	0	0	0	7,422

